

Doc. No.: NR080229-4

2008年2月29日

台湾・UMC社から「エクセレントサプライヤー賞」を受賞

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)の半導体機器カンパニー(社長：垣内 永次)は2008年2月22日、世界有数の半導体製造ファンドリー[※]であるUMC社(本社：台湾・新竹市/Chairman兼CEO：Jackson Hu氏)から、2008年度「エクセレントサプライヤー賞」を受賞しました。

近年、中国やインドなどの巨大消費市場の台頭を背景に、アジアのデジタル家電市場は着実な成長を続けており、半導体業界においてもパソコンや携帯電話のほか、薄型テレビや携帯音楽端末などの民生機器用途を中心としたデバイスの生産が増強されています。そのため、半導体の一大生産拠点である台湾での生産規模も拡大しており、当社ではサービス要員を4年間で3倍以上に増員するなど、台湾における販売・サービス体制の強化を図り、高いレベルの要求に応えてきました。

「エクセレントサプライヤー賞」(Supplier outstanding award (In recognition of Outstanding productivity Improvement & Cost of ownership))は、UMC社の2007年度の業績に寄与した企業に授与されるものです。同社が今年初めて開催した「UMC 2008サプライチェーンマネジメントカンファレンス」において表彰式が行われ、設備、材料、パーツ、流通などすべてのサプライヤー約100社の中から、今年は7社が受賞しました。

当社は、枚葉式ウエハー洗浄装置「SS-3000」の納入により、半導体製造ラインの生産効率を向上させるなど、UMC社の業績に大きく貢献したことが評価され、今回の受賞となりました。

※ ファンドリー (受託製造)

製造設備を持たない半導体メーカーから設計データを受け取り、半導体チップの製造を専門に請け負う企業。

■ UMC社 (United Microelectronics Corporation / 聯華電子股份有限公司)

1980年に設立された、台湾を代表する大手半導体ファンドリー。半導体需要の主要分野を網羅する最先端デバイスを製造しており、半導体受託製造における世界シェアは第2位。台湾のほか、日本、シンガポール、ヨーロッパ、米国に拠点をもち、約1万2,000人の従業員を有する。

URL : www.umc.com

表彰式の模様

☆この画像の印刷用データ(解像度300dpi)は、下記URLよりダウンロードできます。
(www.screen.co.jp/press/nr-photo/)



●本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 本社広報室：Tel 075-414-7131 Fax 075-431-6500 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目